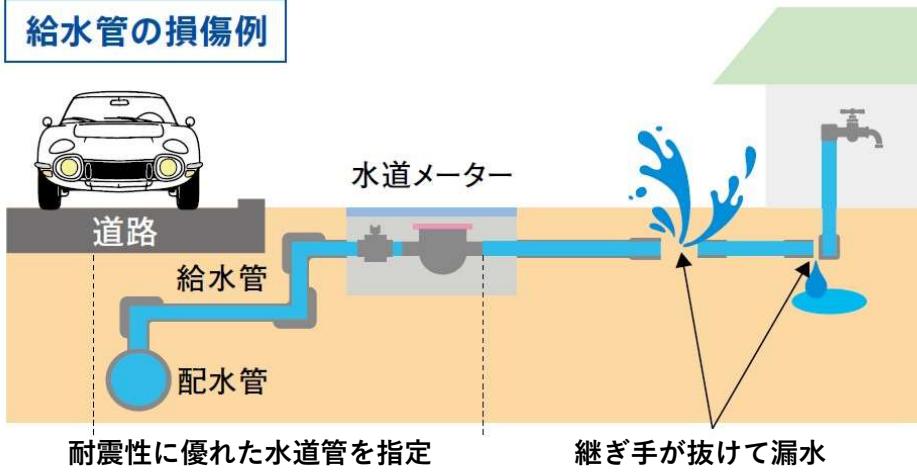


宅地内も地震に強い水道管へ

○災害時に水道が使用できるように、宅地内も耐震性の高い水道管とすることをおすすめします

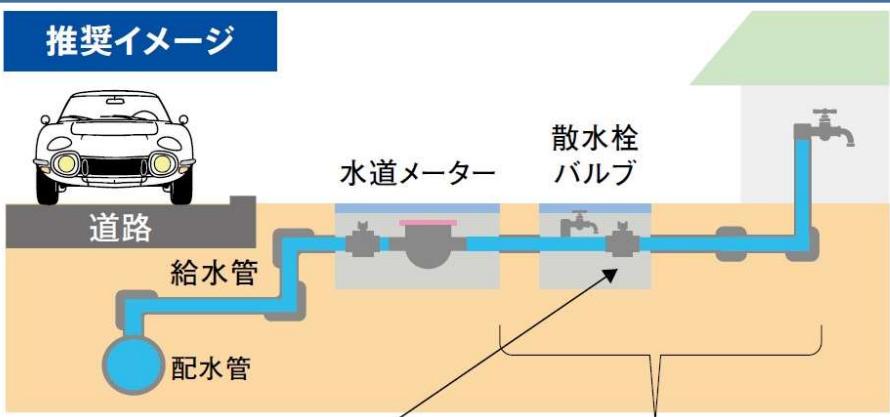
過去の大きな地震では、宅地内の水道管で継ぎ手が抜けるなどの漏水が多く発生し、ご家庭の蛇口から水が使用できない状況が続く事例がありました。

給水管の損傷例



そこで、ご家庭でできる災害への備えとして、建物の新築やリフォームの際には水道メーターから建物の中までの水道管を**耐震性の高いねじ込みの継ぎ手や伸び縮みする継ぎ手等**とすることについてご検討ください。また、災害などで万が一建物の中の水道管が損傷しても、道路内の水道管が復旧した際に、庭先で水道水が使用できるよう、水道メーターから建物までの間に**散水栓とバルブ**を設けることについてもおすすめします。

推奨イメージ



建物内の水道管が損傷しても
バルブを閉めると散水栓が使用可能

耐震性に優れた水道管を推奨

